



雪中だより

令和六年 四月九日 発行

大田区立雪谷中学校

校長 柳 歆子

春風爽快

校長 柳 歆子

校舎の窓から、桜の花びらが、春の風に乗って舞い込んできます。

雪谷中学校の校舎からは、手を伸ばせば届きそうなところに咲き誇る呑川沿いの桜を楽しむことができ、毎年、明るく清々しい空気の中、新しい年度が始まります。

雪谷中学校は、今年度一三五名の新生を迎え、令和六年度をスタートしました。

雪谷中学校では、昨年度の三学期修了式から、「校歌斉唱」を再開しました。「始業式や終業式で校歌を歌う」という文化が、三年ぶりに学校に戻り、とても嬉しく思います。

始業式で校歌を歌う新二年生、新三年生の顔が少し大人びていて、頼もしく感じました。上級生には、新入生を温かく迎え、模範となり、ともに楽しく充実した学校生活を創り上げてほしいと願っています。

日本の学校教育には、様々な活動があります。教科の学習に加えて、行事や生徒会、部活動、ボランティア活動など、それぞれに教育的な意義があり、人間の成長を支えてくれます。

学校行事がない国もありますので、このように多彩な学びの機会があるのは、日本型学校教育の大きな特徴と言えるでしょう。

雪谷中学校では、前向きに学校生活に取り組む生徒たち、熱心な教職員、温かく学校を支えてくださる保護者、地域の皆様に恵まれ、日々の教育活動を充実させることができます。

特に、生徒会活動や学年レクなど、生徒たちが自分で考えた企画や自主的な活動が活発に行われ、それを教職員や保護者の皆様がしっかりサポートして実現させていく取り組みは、雪谷中学校の素晴らしい特色であると思います。

雪谷中学校は昨年度から「コミュニティ・スクール」の指定を受け、保護者の皆様や地域の皆様のご意見、ご協力をいただきながら、学校教育をより充実させる取り組みを行っているのですが、昨年は、生徒会と学校運営協議会のコラボによる新しい行事を実施することもできました。

これからも生徒の皆さんが多様な学習や体験を通して、社会性を育むとともに、自分らしさや自分の良さを伸ばしていけるよう、取り組んでいきたいと思っております。

中学校の三年間は人間が心身ともに大きく変化する時期であり、一人一人の生徒の、その時々状況の中では、様々な悩みや困難が生まれることがあります。

雪谷中学校のすべての生徒たちが、自己の課題を乗り越え、大きく成長できるよう、学校は生徒一人一人に寄り添い、保護者の皆様、地域の皆様方と連携しながら、「チーム雪谷」として全力で生徒を支援していきます。

今年度も温かいご理解、ご支援を、よろしくお願いいたします。



雪谷中学校は、令和五年度より「コミュニティ・スクール」の指定を受けています。

「コミュニティ・スクール」とは、保護者や地域の皆様、関係諸機関の皆様によって構成された「学校運営協議会」を設置する学校です。保護者や地域の皆様、主任児童委員、連携小学校の校長先生など、多くの方々のご意見と、ご支援をいただきながら、より良い学校づくりに取り組みます。